

會 報

第 21 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成6年7月11日制定

滋賀県レイカディア大学同窓会

目 次

新・会長にインタビュー	2
滋賀県レイカディア大学同窓会会報第21号の発刊に寄せて	
滋賀県レイカディア大学学長 山田 新二	6
平成16年度の本部のあゆみ	9
平成16年度事業計画	13
平成16年度予算	14
功労者表彰・受賞の喜び	15
米寿の方のひと言	21
支 部 の 動 き	29
グ ル ー プ 紹 介	39
新入会員の紹介	51
平成16年度本部役員	53
物故者を悼む	54
編集後記・編集委員	55

表紙写真：第16期 スポレク学科 出路 貞子さん撮影
(五個荘町、金堂 重要伝統的建造物群保存地区)

新・会長にインタビュー

今日は、去る、5月15日の本部総会で、新会長に就任された奥村常治郎さんに今後の同窓会の運営について広報部員がお伺いしました。

黒田 こんにちは。会長就任おめでとうございます。

早速ですが、新任にあたっての心境は如何ですか。

会長 こんにちは。ありがとうございます。

今年は、役員改選年に当たりますので、年明け早々の常任理事会（1月30日）を「三役選考委員会」に切り替え、計らずも満場一致で推挙された次第です。

副会長、会計など三役の方も支部長を兼務しながら就任いただくので、安堵していましたが、本部総会を機に、その重責に身の引き締まる思いをしつつも、1,800名の会員の旗振り役として、頑張らねばと自身を鼓舞しています。

三上 支部、本部ともに豊富な経験を活かしてのご活躍を祈念しています。ところで、就任挨拶で、3つの「思い」を述べられましたが、今日は、その辺をもう少し詳しくお聞かせ下さい。

会員にレ大の授業を聴講

会長 その1つは、「レイカディア大学の必須講座の聴講制度の創設」です。

卒業後の地域活動や生涯学習の状況などを発表する場としての「成果展」や「体験発表会」をレイカディア大学は、一昨年から全て取りやめました。以後、卒業生と母校との関わりは、一切途絶えてしまいました。しかし、卒業生の母校に対する「思い」は強く、何とか目に見える形で実現していただきたいとお願いしてきました。

幸いこの夏には、願いが叶い同窓会員が、「地域活動の場で更に、知識技能を得たいと思う会員」を対象に、レイカディア大学の必須講座の授業を在校生と一緒に聴講出来ることになりました。

この講座は、一般の公開講座ではないため、聴講人員に制限があったり受講講義も選択出来ないなど、希望が叶えられなかった点もありましたが、ご理解いただきたいと思えます。

この度の聴講制度は、レイカディア大学25年の歴史に新しい一頁を飾る画期的なもので、また、同窓会の存在を顕在化した有意義な出来事だと思います。

今後とも多くの方が聴講され、地域活動の糧にされんことを希望します。

黒田 われわれの願いが叶い、大変良かったですね。来年は、もう少し人員枠を増やしてもらえるようにお願いします。

会長 会場の都合もありますが、来年はもう少し多くの会員が参加出来るようお願いしたいと思います。

三上 就任時の挨拶で「苗代」の話がありました。

本部は苗代のように

会長 「本部の苗代化」です。つまり、「苗代」は、よい苗を育てて、田に移植するのが役割です。「田」にあたる支部は、手塩に掛けてこそ、秋の実りが楽しい、と言うものです。

具体的には、定期的で開催する常任理事会では、各支部での出来事や支部で抱えている問題をみんなで共有する。そうすれば、日頃、支部の活性化について真剣に取り組んでいる支部長さんですから、解決の糸口を見付け出してくれるものと期待しています。

そして『これは支部でも活かせる』と思うものは、支部に持ち帰り早速、実行してみるなど例えそれが些細なことでも、今までと少しでも変わった、と会員さんが感じたら、それが活性化であり、魅力ある支部づくりにつながるのです。

支部に魅力があれば、会員さんも定着するし、それが口コミで新会員の勧誘にもつながっていけば大変結構なことですね。

要は、本部は催しを主宰することも大事ですが、それだけでなく「支部活動をより活発にするための情報発信の場」づくりに意を配らねばと思っています。

このステアリング・舵取りこそが、会長の使命だと自覚しています。



会長 奥村常治郎 さん

新会長のプロフィール

1933年、滋賀県生まれ・草津市在住。第17期文芸学科卒・湖南支部。
平成10年度～平成15年度湖南支部長兼本部事務局長。
滋賀県レイカディア振興運営委員会委員。

創立25周年には2,000名に

黒田 平成18年にはレイカディア大学同窓会は25周年になるのですね。

会長 昭和53年にレイカディア大学が創設され、その2年後に同窓会が発足したわけですから数えて、平成18年には25周年を迎えます。この間、会員の増減を繰り返しながら、現在は1,856名を数えるまでになりました。

このすばらしい伝統ある「同窓会」を後輩へしっかり継承する義務と責任があります。そして、創立25周年には、是非2,000名を擁した伝統ある立派な同窓会にしたいものと思っています。

会員が増えることはそれだけ組織に活力が培れることになります。

そして、活力に魅せられた会員は、脱会を思いとどまり、また、新会員の入会にも拍車がかかるといふ、相乗効果を生むことになります。

黒田 そのためにも脱会者の引止めと新会員の勧誘が大事ですね。

同窓会は「お達者会ではない」

会長 そのとおりです。

先日も湖南支部の広報紙“かわらばん”を見て感動しました。行事の案内とともに「足が不自由な方は、マイカーで送迎します。希望される方は役員に申し出て下さい」との記事が載っていました。同窓会は「達者な間だけの会ではない」のです。従って、このような気配りには大いに参考にしてもらいたいものです。

高齢や体調を理由に、脱会する人が多いことを思うと「参加し易い」方法を考えることが必要です。支部の配慮に魅せられて、会員の定着もよくなると思います。

三上 会員が増えることは会の活性化だけでなく、いろんな面で波及効果が芽生えますね。そのためにも、支部が「まづ、燃えないことには始まらない」をよく理解し実行しなければと思います。

会長 是非その心構えでお互いに頑張りましょう。

黒田 「同窓会」と「老人会」の違いをよく聞かれますが。



三上 善弘さん
第20期 陶芸学科
湖南支部長兼広報部長

「キラッ」と光る存在

会長 確かに、双方とも高齢者の親睦団体ですね。現に、地域の老人会で活躍している会員さんは多勢います。私も単位クラブの会長をやっています。

ただ、同窓会は、現役を立派に勤め上げ、「さあ—これからは、好きなことを気ままにして過ごそう」とする人が多いなかで、生涯学習や『地域活動の担い手』を目指して、あえて2年間机に向っての晩学に挑戦してきた仲間たちです。その志と姿勢は大いに誇りとすべきで、マラソンの有森裕子さんではありませんが、「自分を褒めてやりたい」人たちがばかりです。

だからと言って、おごり高ぶったり、老人会を凌駕しようなどと大それた考えではなく、同世代の仲間として、仲良く共存すべきだと思います。それでいて、何かの折に「あの人、誰」と聞かれて、「レイカディア大学を卒業した人」と教えられ、「なるほどなあ—、やっぱりなあ—」と、周りを納得させる。そんな「キラッ」と光る存在感のある人を目指したいものです。

黒田 「老人会」とよく似たことをしている、と時々耳にしますが。



黒田 玲子 さん

第22期 スポレク学科
守山野洲支部副支部長広報部員

『老人会』とは一味違う活動を

会長 先ほども言ったとおり、同世代の親睦団体ですから似かよったところがあるのは、否めないと思います。しかし、「老人会」は、小地域の仲間ですが、われわれは広域な組織ですからもっと大きな枠組で集うことが可能です。事実、本部総会で表彰された『紙芝居グループ』や19期生の『花緑公園のガーデナース』などは支部をまたがってのボランティア活動を行っています。

また、俳句、短歌の文化活動やグラウンドゴルフ、ゴルフなどのスポーツにしても、好きな人たちが、好きな時に集まって楽しく交流しています。

これらはいずれも支部の行事でなく、他支部との広い交流の活動で、しかも「クラブ」や「同好会」の活動として行っているのです。

従って、もっと広域な活動を目指したら「老人会」とは一味違う活動も可能なわけですね。

三上・黒田 今日は、新機軸や具体的な指針をお聞きして、これらの支部活動を進めて行くうえでの「教本」としたいと思います。

私達も頑張りますので、会長も旗振りをよろしくお願いいたします。

どうもありがとうございました。

会長 みなさんのご支援、ご協力を糧に頑張ります。よろしく申し上げます。

滋賀県レイカディア大学同窓会 会報21号の発刊に寄せて



滋賀県レイカディア大学

学 長 山 田 新 二

滋賀県レイカディア大学同窓会会報21号の発刊にあたり、一言挨拶を申し上げます。

レイカディア大学は、昭和53年に設置された「滋賀県老人大学校」が前身ですが、開校以来3,500名を越える多くの方が卒業され、県下各地において、地域活動やボランティア活動に活躍されていることに、大学を運営している者として、大変心強く思っているところです。

我が国では、世界に類を見ない早さで、高齢化が進んでおります。高齢になっても可能な限り自立して、社会に関わりを続けながら暮らすことが大切です。併せて就労人口も減少するなかで、社会における地域を支える高齢者の役割は、ますます期待されているところです。

昨年は同窓会の皆さんに協力をいただき、1,000名の卒業生に対し、卒業後の活動状況調査を行い、多くの意見を聴取することが出来ました。皆様のご協力に対し、この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。調査結果につきましては、末尾に添付させていただきますので、ご覧下さい。

この調査結果をもとに、在学中から地域活動を体験していただく学習や、在学中に学んだことを地域に生かせるように、「実学・実践」の講座を実施いたしております。

また近年急速に普及しているインターネットを通じ、卒業生の得意分野を「びわこシニアネット」に登録し、地域を支える人材情報として広く公表することで、卒業後の活躍の場を広めるものと期待しています。

同窓会の皆さんには、今日まで培ってこられた豊富な知識や経験をもとに、レイカディア大学の学びを生かしていただき、地域の活性化に寄与していただくことを期待します。滋賀県社会福祉協議会も「いつまでも安心して暮らせる地域福祉のまちづくり」に向けて、邁進する所存でございます。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓会運営にご尽力いただいております関係者の皆さんに敬意を表しますとともに、同窓会の今後のますますの発展と、会員の皆さんがさらにお元気でご活躍されますことを祈念いたしまして、発刊に寄せての挨拶といたします。

調査の概要

1 調査の目的

滋賀県レイカディア大学は、高齢者に生涯学習の機会を提供するとともに、高齢社会における社会参加や地域づくりにおけるリーダーの育成を目的としているが、卒業後の活動状況が大学側で十分に把握できていない。そこで、地域での活動状況の把握と高齢者が永年にわたって培った豊富な経験、知識、技能を地域社会に提供し、これを地域社会が積極的に受け入れることができるよう、シニアリーダー（高齢指導者）の人材情報の公開のための情報収集を目的とし、活動状況調査を実施しました。

2 調査方法等

- (1) 調査対象者 レイカディア大学卒業生
20期生・21期生・22期生・23期生・24期生の896名を対象。
- (2) 調査方法 郵送による調査票配布、郵送による回収。率83.8%
- (3) 調査期間 平成15年8月～10月

レイカディア大学卒業後のあなたの地域での活動状況について

		(%)
地域で何らかの活動に参加	参加している	85.9
	参加していた（今はしていない）	6.7
	参加したことがない	5.5
	無回答	1.9
参加している、参加していた活動は (複数回答可)	老人会の活動	60.9
	自治会・町内会の活動	56.1
	趣味の会・団体での活動	68.9
	ボランティアの活動	60.1
	その他	10.6
その参加における参加の度合いは	積極的に参加	76.0
	義務で参加	15.7
	あまり参加していない	1.5
	その他	2.2
	無回答	4.6
その活動で役職について (複数回答可)	役職についている	63.5
	役職についていない	27.7
	無回答	8.7

その活動に参加するきっかけは	自主的に	44.3
	輪番制で仕方なく	15.0
	レイカディア大学での学習がきっかけ	13.1
	その他	17.9
	無回答	9.7
その活動で感じたことは	新しい仲間ができた	47.0
	地域社会に貢献できた	37.8
	生活に充実感が持てた	3.6
	自分の技術、技能が向上した	1.2
	特に感じない	1.5
	その他	1.7
	無回答	7.3
地域でのさまざまな活動に参加していくには、何が必要ですか (複数回答可)	一緒に参加できる仲間がいる	58.2
	身近に活動の場がある	46.7
	家族など周りの理解	30.2
	参加費が余りかからない	33.5
	時間や期間に余り縛られない	25.6
	良い指導者がいる	31.1
	自分の経験、技術が活かせる	33.0
	参加を呼び掛ける世話役がいる	19.9
	その他	2.3

レイカディア大学同窓会について

(%)

レイカディア大学同窓会に入会	入会している	76.5
	入会していない	15.0
	無回答	8.4
レイカディア大学同窓会に何を期待しますか (複数回答可)	支部間の活発な交流、情報交換	31.7
	会員の地域での活発な活動ぶりを広く知らせる	29.5
	在校生との意見交換の場を持ち、卒業後の活動について話し合う	9.5
	同窓会として地域活動や行事に参加する	24.7
	同窓会が独自の地域活動、ボランティア活動の事業を行う	18.2
	レイカディア大学や県社協の事業に積極的に参加する	16.5
	その他	6.8

平成16年度の本部のあゆみ

滋賀県レイカディア大学同窓会

事務局長 池田邦治

同窓会本部では、定期総会の議決にもとずき、各専門部が取り組んだ事業をお知らせします。

1. 定期総会

5月15日、総務部と大津支部の担当で、大津市におの浜のアヤハレイクサイドホテルに於いて、平成16年度の定期総会を開催しました。

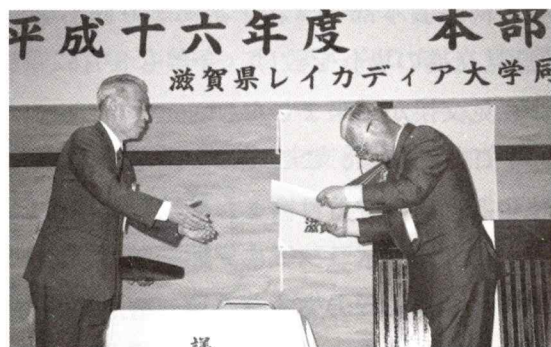
総会は、レイ大副学長の鳴川尚様、レイ大担当課長平岡行雄様、大津市保険部長柴田與一郎様など多数の来賓の方々と189名の会員の出席のもと、盛大に催されました。

議案の審議にさきがけて、功労者表彰個人賞9名、団体賞1グループ、また白寿、米寿慶祝が9名の方々に授与されました。

議事の審議に入り、提案の議案は滞りなく可決、承認されました。

役員改選では、門馬三郎氏に代わり会長に奥村常治郎氏、副会長に岩井典弘氏と岩崎進氏、監事に木俣信一氏と藺昭三氏を選出。また常任理事会で事務局長に池田邦治氏、会計に城宏衛氏が専任されました。

なお、総会で次のような提言があり、その後の常任理事会で次の通り対応しました。



新会長奥村氏(右)より前会長門馬氏に感謝状贈呈

【提言の要旨】

1. 特別会計基金とは？

なお、一般会計に繰り入れてはどうか？

2. レイ大卒業生に対するアンケートの結果の集約と広報は？

3. 本部会計、事務局長も総会の承認事項にすべきでは？

【提言に対する対応】

各提言は、常任理事会で審議し、次のとおり対応することにしました。

1 について：

(1) 先輩会員の寄付金。

(2) 記念事業などまさに特別の事業にあてる基金。

2 について：会報第21号で掲載します。

3 について：提言通り実施する方向で会則の改定作業を進めています。

● 懇 親 会

総会終了後、3階大広間で和やかに懇親会。久しぶりの再会を懐かしみ、互いの健康を喜びあい、お酒を酌み交わし心ゆくまで語り合い楽しく、にぎやかに歓談。再会を約しお互いに達者でな！と。午後3時過ぎに散会。大変有意義なひと時でした。



2. 同窓会活動の活性化の努力目標を設定

同窓会本部では、平素あまり話し合いの機会が少ない支部役員の皆さんとの「意見交換の場」を設け、今年も8月に草津校、米原校ごとに開催し、大変有意義な意見交換が出来ました。

そこで今年も、ここでの貴重な提言を踏まえて、今後の同窓会の活動を更に活性化するための努力目標として次の5項目を設定しました。

1. 地域ボランティア活動および魅力的な幅広い事業活動を積極的に行う。
2. 支部間の交流をより一層活発に行う。
3. 組織のより一層の活性化をはかる。
4. 学校との連携および交流の強化をはかる。
5. レイカディア大学卒業生としての誇りと自覚を持って行動する。

3. 県支部対抗グラウンドゴルフ大会

総務部長 戸之洞 貞 夫

汗ばむような秋晴れで、絶好のスポーツシーズンとなった10月14日(木)午後より、東浅井郡びわ町、県営奥びわスポーツの森設営のコースを借用して、レイ大同窓会主催の県支部対抗グラウンドゴルフ大会を開催した。



このコースでの大会は昨年に続いての2回目であるが、全面芝生のコースには丘あり、坂あり、河川に似せた谷間の側溝ありで、障害物が多くて難コースとも言われているが、さすがに各支部選り抜きの集団とあって、難所も厭わず日頃鍛えた腕を競いあった。

今年の競技方法は従来とは大幅に異なり、支部間の交流と親睦を図ることを目的として、①チーム編成はミックス方式とする。②スコアラーを廃止して夫々のチームのゼッケン番号No1の選手が記録の責任者となり、チーム全員で確認しあう。③団体賞の他に、個人賞を新設(但し、順位は設けず最少打数から順に5名が表彰対象とする)するなどの新しい方法を採用した。まだ馴染がないのか、競技開始の頃には若干の戸惑いも散見されたが、次第に打ちとけあって、あちらこちらに親交の輪がひろがった。

又、今年は、大会進行役員として総務部員の他に、9支部の全支部長も参加され、運営の側ら、18ホール(9ホール×2コース)を打ち終えてホッとする自支部の選手に、ねぎらいの言葉や拍手で迎えている光景が印象的であった。

終了直前に天候が急変して、昨年への舞いかと心配されたが、表彰式も無事終了。湖北しぐれ?に悩まされながら全員帰途についた。

尚、当日の戦績は次の通り(団体の5位以下は省略する)。

【団体賞】 優勝 守山、野洲支部(合計打数361)

準優勝 湖南支部(375打)

3位 湖北支部(379打)

敢闘賞 大津支部(384打)

【個人賞】

岸本四郎(湖北支部)48打

鳥居義樹(守山・野洲支部)52打

徳井泉二(湖南支部)52打

河村利逸(守山・野洲支部)55打

池田邦治(高島支部)56打

4. 「必修講座の聴講制度」創設

湖東支部 第15期 文芸学科 川 並 稔 男

「成果展」や「体験発表会」が中止になった後の卒業生と学校をつなぐ唯一の場として、私たちの願いが叶った表記講座が新設されました。

まさに、大学創設以来の画期的な制度で、早速、8月6日に草津校、26日には米原校でそれぞれ開催され、在校生とともに聴講できました。「地域活動の資質向上を目指した講義」は、今後の活動を推進する上で大変参考になった講義でした。

以下に8月26日の米原校での聴講の様子をお知らせします。

平成16年8月26日私達レイ大同窓生13名は、久しぶりの学校と在校生（25・26期生）らの勉学意欲に数年前を思い起こしいささか興奮状態であった。

私達は会場最前列に並び聴講する。テーマは垣見紀之宇治黄檗病院副院長の「血管と老化」後半は村西NECシステムテクノロジーマネージャーによる「IT社会が老後を楽しくする」の二講座、何れも大いに楽しく参考になった。特に垣見先生の血管は灌漑用水というタトエに思わず膝をたたいて納得した。また村西先生はIT革命はかつての産業革命に匹敵するインパクトを与え、ユビキタス社会を作り出すと夢の実現に既に動き出したと熱く語られ一同感動する。かくて初聴講は大成功裡に終了した。



左は垣見先生、右は村西先生



最前列で聴講する同窓生ら（於：米原校）

5. 平成16年度事業計画

—同窓会活動の活性化をめざして—

日 付			事 業 の 概 要
月	日	曜日	
4	6	火	第1回常任理事会 1. 議案書の最終審議 2. 総会関係事項の最終確認 3. 業務引継ぎ日程の確認
			第1回理事会 議案書の審議
	25	日	総会議案書配布
5	15	土	本部総会 於・大津・アヤハレイクサイドホテル 懇親会
6	9	水	第2回常任理事会 1. 本年度の活動方針の確認。 2. 各部の委員選考 3. 本部会費納入
			第2回理事会 1. 本年度の活動方針の報告 2. 各部の委員選考
7	22	木	第3回常任理事会 1. 「会報」の編纂の具体的作業計画 2. 会計の中間報告、支部別会費納入状況(支部会員名簿の提出) 3. 支部対抗グラウンドゴルフの実施要領について
8	6	金	草津校で初の※「聴講制度」として30名が大講堂で聴講
	24	火	草津校区地域懇談会 ●同窓会活動の活性化および今後のあるべき方向について
	26	木	米原校でも※「聴講制度」として13名が小劇場で聴講
	31	火	米原校区地域懇談会 ●同窓会活動の活性化および今後のあるべき方向について
10	8	金	第4回常任理事会 1. 支部対抗グラウンドゴルフの開催に向けて 2. 聴講制度、地域別懇談会の報告 3. 「会報」の原稿執筆者の確認とその進捗状況について 4. 次年度総会担当支部について—高島支部に決まる
	14	木	支部別対抗 ※個人別対抗グラウンドゴルフ 於びわ町スポーツの森
11	18	木	第5回常任理事会 1. グラウンドゴルフ大会の報告 2. 会報について
12	21	火	会報第21号発行
1	28	金	第6回常任理事会 1. 次年度総会にむけて 2. 17年度事業方針の策定 3. 会報第21号の反省
2	4	金	第7回常任理事会 1. 17年度事業方針の決定 2. 17年度総会について

※印は、今年度より新規実施した事業。

6. 平成16年度予算

収入の部

単位：円

項 目	16年度予算額	15年度決算額	増 減	摘 要
会 費	1,295,000	1,276,800	18,200	
総 会 会 費	690,000	0	690,000	@3,000×230
雑 収 入	20,535	5	20,530	
繰 越 金	259,465	228,888	30,577	
合 計	2,265,000	1,505,693	759,307	

支出の部

単位：円

項 目	16年度予算額	15年度決算額	増 減	摘 要	
会 議 費	総 会 費	900,000	262,711	637,289	含む懇親会費
	会 議 費	55,000	37,178	17,822	
	小 計	955,000	299,889	655,111	
事 務 費	旅 費	180,000	150,100	29,900	
	消 耗 費	10,000	8,167	1,833	
	印 刷 費	10,000	5,789	4,211	
	通 信 費	10,000	7,800	2,200	
	雑 費	10,000	6,270	3,730	
	小 計	220,000	178,126	41,874	
慶 弔 費	270,000	265,640	4,360	慶 120,000	
事 業 費	総 務 部	130,000	136,858	△6,858	
	研 修 部	50,000	20,447	29,553	
	広 報 部	400,000	345,268	54,732	
	小 計	580,000	502,573	77,427	
予 備 費	240,000	0	240,000		
合 計	2,265,000	1,246,228	1,018,772		

特別会計基金 600,367 + 当期利子

功労賞表彰・受賞の喜び



功労者表彰に浴して

大津支部 第15期 園芸学科
野々村 繁 雄

レイカディア大学卒業と同時に、「気功・太極拳」を習い老後の健康指導に当たっております。毎回大勢の会員の皆様と共に「教えられたり、教えたり」共存共生の気持で楽しくすごす日はさわやかなもの、老後の健康のためにも嬉しいものです。思えば20年来の地域とのふれあい、10年余りの「気功・太極拳」でのふれあいは多くの知己と人生観を得ました。高齢者社会の生甲斐といつも思っております。今回の受賞は皆様との健康づくり、親睦の輪づくりの賜物と思っております。老後の健康は一番の宝物、会員の皆様と共に大事に致したいと願っております。どうかこれからも更なるご指導の程お願い致します。

長寿者の日々「わたしの一日」

湖南支部 第18期 生活学科
加 藤 吉 男



「継続は力なり」この言葉は10年目に入った一人暮らしの支えです。多くの方々にご援助を頂き、お陰様で今でも歩いて動けることが最高の幸せと思い感謝する毎日です。項目別に私の実践録を挙げてみます。

- 1、健康維持の食生活…月2回料理教室で調理実習し、その成果を毎週土曜日に大津在住の娘家族4人（高校生と小学生の孫2人と亡き妻の写真を含む）を家に招く夕食会で披露。
- 2、子供とふれあい精神的若返り…草津小・中学校の環境ボランティアは毎週1回プランタや陸稲の水遣り草取りをしたり、生涯学習課の登録者として「戦争体験を語る」経験談を紹介。

- 3、地域活動による相互扶助…自治会老人会や地域サークルに積極的に参加して大人のふれあい、古紙回収にはボランティア参加
- 4、趣味活動の楽しみ…観世流謡曲・仕舞いを草津・矢倉の両公民館で毎月4回練習、能楽歴は会社勤務時代以来のキャリア。
- 5、体力作りの心掛け…草津市保健センターでのヘルストロンと血圧測定、毎朝1万歩目標の散歩・ジョギング、その途中に妻と語る墓地での読経、道会う人と挨拶、夏休み期間は子供会ラジオ体操に参加し、グラウンドゴルフは週2回約40名会員と交流。
- 6、日々の生活心得…起床後洗面時の頭・顔・肩等を手でたたくマッサージ、口中うがいと舌かき、髭剃り、就寝前の日誌としての行動記録と家計簿記録及び現金の確認。

(注記) 取材の感想

加藤さんは会社での大先輩、今も職場のOB会長で「オッチャン」と呼ばれ親しまれています。座右の銘を信念にもつ一人暮らしは、予定表を埋め尽くす毎日のようです。写真は自宅前の鉢植と玄関に並べられた10年で10個目の達磨さんで、このお迎えは印象的でした。



功労賞受賞と喜び

守山・野洲支部 第5期 園芸学科
井上一男

湖南支部から当支部が独立後、10年に亘り役職を務め、支部の基礎づくり、運営面で貢献。役員引退後も80代の高齢に拘らず、支部事業活動に率先垂範して参加。会員からも尊敬されている当支部の模範会員である。(支部長)

吾々が生活している自然界に於いては、“節”があると強度を増すものが沢山あります。

私は米寿と云う節目の年に、表彰して頂きました。会長を頂点とする同窓会の皆さんに厚くお礼申し上げます。

今後は、より一層健康に生きるようにして皆さんの御厚意に添うよう努力して参ります。

功労賞受賞とこのごろ

守山・野洲支部 第9期 園芸学科

田 中 一 男



中主地区の担当理事として、14年の長きに亘り会員の交流連絡等に活躍され、支部活動の発展に貢献。最近が高齢のため会員の連絡には家族の協力を得ながらその役割を果たされ、大変敬服している。(支部長)

この度は、はからずも賞を頂き只々感謝の気持ちで一杯、皆様のお役に立てず申し訳なく思っております。62年町老人会副会長当時、安土町で指導を受け、初めたベタタンクを、この頃でも週3回行なう。御陰で県内でも多くの人々と知り合いになり、ねんりんピックにも山梨大会、山形大会と2回も出場し益々友人がふえ付き合いが広がる。これからは地域活動に生かされた喜びに感謝しつつ社会のお役に立ちたいと思っております。



功労賞を受けて

甲賀支部 第14期 陶芸学科

八 太 利 郎

平成15年度本部定期総会におきまして、私が功労者表彰を受賞するという誠に身に余る光栄に浴し、感謝に絶えない次第であります。衷心より厚くお礼申し上げます。

信楽に隣接しながら、当時あまり焼き物に知識がなかったのか、それとも、素人では出来ないものと思っていたのだろう。

4月の末のある日、テレビで放映されたのが、老人大学学生募集でした。早速、甲西町の社会福祉協議会へ足を運びました。社協へ行くのも初めてで、老人大学の入学手続きをお聞きすると、すぐさま老人会の松村氏から説明があり、今年(13期)は、石部町から2名の申し込みがあり、来年は、甲西町が2名の枠が貰えますとの事で、申し込んで帰ろうと思ったら、甲西町も老人クラブで陶芸教室を開いているから真鍋先生に聞いてみなさいと教えられ電話をかけたところ、5月の第1月・火曜日に来るようにとの事でした。これが私の陶芸への第一歩です。1年間、社協の教室で、作陶、施釉、本焼と教えて頂き1年後、老大に入学し、必須科目は天津で、

県の建物（次の授業の教室は、どこどこでと教えられる）正に間借り生活そのものでありました。

選択科目（陶芸学科）は、水口碧水荘で2年間お世話になりました。大津では、卒業作品兼初窯を使用させて頂き、県老人大学から県レイカディア大学草津校と名称が変わりましたのも、14期生が最初で最後です。なお、2年生の11月には、県老人クラブ連合会主催で、洋上セミナー・レイカディアの船で宮城県の老人クラブとの友好の集いが開かれたことも、2年間の老大的思い出となりました。

最後になりましたが、関係者各位のあたたかいご推薦の賜ものと深く感謝いたす次第でございます。

功労賞を受賞して

近江八幡支部 第12期 生活学科
生 田 かおる



今年度の本部総会で思いがけなく功労賞をいただきありがとうございました。これも皆様方の御支援のお蔭であると感謝致しております。

時の流れは早いものと云いますが、私が生活学科を卒業してから13年となりました。卒業した翌年「地区の幹事をせよ」と言われ老人クラブの女性部長をしながらお引き受けしました。その後、2～3年のブランクはありましたが、今も支部のお役にたつならと思ひ、及ばずながら相談役をさせていただいております。幸い現在は体調もよく年相応に元気しております。此の頃は健康維持の為「グラウンドゴルフ」をしております。支部の大会には欠かさず参加しています。以前は本部大会に女性代表として参加した事もありましたが、なかなか腕が上がりず今ではプレーを楽しんでいる程度でございます。

今後も支部の事業（催し物）にはできるだけ参加したいと思っていますのでよろしくご指導をお願い申し上げます。

受賞理由

近江八幡支部地区幹事として8年間の長期にわたり支部発展のため協力し、会員の先頭に立って、会員相互の連絡並びに調整等につとめ、又会員の親睦に実績を上げ信望も厚い。



“あたりまえのことをめざして”

中部支部 第15期 スポレク学科

平井 博

この度は、はからずも功労賞を頂きました。多くの対象の方々が居られるのに「アタリマエ」なことだけでもできない私が、選ばれたことを申し訳なく心からお礼申し上げます。

平成6年卒業時にはレクリエーションインストラクターの資格を取得していたので、八日市レクリエーション協会に所属しながら、地域の公民館が行う高齢者と子供達の交流を目的とするイベント等に参加させてもらい、主として遊びや、楽しみを、中心とするゲームやクラフトをやって来ました。

平成7年に福祉レクリエーションワーカーの資格取得、その後は福祉関係の施設（デイサービス、グループホーム等）にボランティアとして参加することも多くなってきました。知人が近江八幡市沖島に「生きがいデー老喜の里」を開所した時は、2年間毎週1回通船にのり参加したのは良い思い出でもあり、よい勉強にもなりました。現在は月1度程度行っております。

又、町内の高齢者を対象に「ふれあいサロン」があり、これの企画運営にかかわり、ここでも、遊びやクラフトを中心にやっていますが大へん好評で利用者からは何度も次回の開催日が楽しみに待たれている。

其の間「滋賀県福祉レクリエーションネットワークこの指止れ」「NPO滋賀県生涯学習インストラクターの会」に加入してさまざまな仲間たちとの交流により、生涯学習や福祉レクのことをいろんな角度から教えてもらいました。福祉理論の中で「ノーマリゼーション」と云う言葉がある。なんとなく意味がわかりにくい。が、ようするに高齢、子供、障害者すべての人が共に生きる社会があたりまえであるということである。無宗教の人、異世代の人、価値観の違う人、障害を持っている人。これらの人と一緒にいて、違いを認め合い、違うことがアタリマエ、違うこと自体がすばらしいと思えるようになることを願っているが、まだまだ努力が必要である。

受賞の喜び

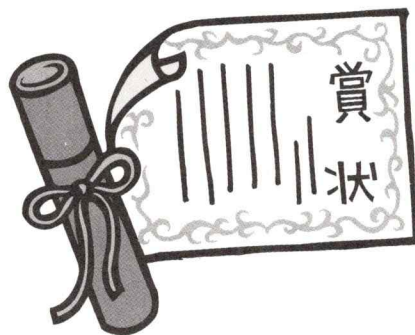
湖東支部 第11期 文芸学科
宮尾 計



平成16年5月15日、アヤハレイクサイドホテルで、滋賀県レイカディア大学同窓会の席上で、会長門馬三郎様より、功労賞を受賞させていただき、身に余る光栄に感激の極みでございました。平成2年9月文芸学科卒業と同時に同窓会に入会させていただきましたが、いたずらに年月を重ねるのみで、功労と名の付く事は何も出来ておりませんのに、私如きを前分会長様始め支部役員様のお蔭と深く感謝致しております。本当にありがとうございました。

文芸学科を卒業致しましたのにその道には進まず、その頃はゲートボールに夢中になり、平成3年3月2級審判資格の認定を取得し、今年4月まで現役で頑張っていました。難聴が極度に悪くなり審判やプレーにも支障を来たし止むなく退かせて頂きました。平成12年11月11日、日本ゲートボール連合の会長桜内義雄様より審判功労賞を受賞いたしました。この度の受賞と合わせ、この年齢で誠に名誉な事と有難く喜んでおります。

先輩や後輩の方々がレイカディア大学の「地域のリーダーとしての養成」に応えて実に素晴らしいご活動下さるお姿を見聞し、感動もし、嬉しく又頼もしく思っております。長い間怠けていた俳句も、昨年彦根花藻句会に仲間入りさせて頂き何とか続けております。他に書、手芸、グラウンドゴルフ等を支えに余生を楽しんでいます。体は至極健康で、雑事に追われ落ち着きのない日々を恥ずかしく思っております。何のお役にも立てない私ですが、せめて今後はこの受賞の感激を忘れず、言動に気をつけてレイカディア大学の名を汚すことのないよう心掛けて参ります。最後に会の益々のご発展と皆様の御健康をお祈り申し上げます。誠にありがとうございました。



米寿の方のひと言



ノー恩給と大尉と（6年間の只働き。）

大津支部 第5期 文芸学科
山本良雄

私は昭和16年～20年まで実役6年でノー恩給である。一人前の将校になってから寒い北千島に居り、19年ヒロシマ帰り、原爆にあい、ひどい何十年を被爆症で苦しんだ。第2総軍のサイドカーで、ヒロシマ市の惨状視察を命ぜられ私も頭部7針の負傷中だったのに7日視察の報告して8日、折返し運転の東京行急行にのり上京。9日大会議場で報告会をやった。この会議中、ナガサキの一報があり、一瞬一同瞬とした。

20年12月1日陸軍大尉になった。戦後4ヶ月京都大阪の通信所復活に活躍した。当時北千島は北海道に属し、内地並みだったのである。（内地は恩給がつかない。）

健康の秘訣：

心がけていること、続けていること。

守山・野洲支部 第5期 園芸学科
井上一男



中学時代、テニスをやっていたので体を動かすのは好きな方です。今は毎日1万歩が日課。雨の日は、ショッピング街を歩くので私の場合“年中無休”です。

健康であった証は、平成4年11月15日“びわこハート駅伝フェスティバル”に守山市代表として76才で“14-19”のゼッケンを付けて参加したことです。

年をとると病気の一つや二つは持っています。ですから疲れたなと思ったら休むことにしています。これは私の体に染みついた健康法です。たとえば、ウォーキングをしているとき疲れを感じたら、自分で脈拍を測り、1分間に120を越えたときはちゃんと休みをとって水分を補給するようにしています。体力を維持するコツは、

“疲れきる前に休むことにつきる”と思います。

今は市の歩こう会に参加しています。ウォーキングで前後左右に動くには“テニス”基本動作そっくりそのまま通用しています。

米寿を迎えた今は健康に良かれと運動しています。万歩計は私の恋人として“身から”はなすことはありません。



学び動くことが若さの秘けつ

守山支部 第9期 生活学科
山 本 て る

今年の総会の席上で米寿のお祝を頂きありがとうございました。今日元気な源は人一倍の好奇心と前向きに目標を持って生きていることです。朝は早起し1時間は歩きます。市の社協のお話し相手ボランティアの仲間入りさせて貰い、定期的に施設慰問に、又幼稚園・保育園には、大正琴を持って演奏交流会に。これからは外出が困難になると思い俳句を勉強している今日一日です。これからは外出が困難になると思い俳句を勉強している今日一日です。

し あ わ せ

甲賀支部 第11期 生活学科
畑 中 千 代

米寿のお祝を頂きまして、有難うございました。

いつの間にか、88才を迎えて、月日の過ぎる早さに、おもいをはせております。

3年前から数え年や、満年齢で、いろんな所よりお祝を頂き、ありがたい事でございます。

おかげさまで足腰が丈夫で旅行に行ったり、ボランティア等しております。

又昭和15年、満州へ義勇軍に行った人達と、毎年慰霊祭をして、いろんな昔話をしてしのんでおります。今年は長野県と、京都の2ヶ所でお逢います。

若くして亡くなった多くの人達を偲び、現在の幸福に感謝しております。ありがとうございました。



米 寿 を 迎 え て

近江八幡支部 第8期 園芸学科
深 尾 正次郎

達者で米寿を迎えました。家族はもとより以前勤めていた役所、老人会等から御祝いのメッセージをいただき大変よろこんでいます。

お陰様で毎年健康老人、歯のコンクールで努力賞をいただいています。現在は晴耕雨読の毎日です。ふりかえてみますと自分の20才代の頃はシベリアで捕虜生活をし、そして何人かの戦友をうしなしました。

無事祖国の土をふんだ事等を思うと感慨無量です。村の区長、氏子総代等をして地域の皆様との交流の輪を広げてきました。

余生は息子、娘たちと各地を旅行し、温泉や名所旧跡を訪ね日頃の骨休めをしております。テレビで「百歳バンザイ」を見て私も家族にかこまれて永生きできたらこんな幸せはないだろうと思っています。

私は朝晩御仏壇前でお念佛をとなえています。神佛のご加護をいただき余生を無事過したいことを切に希っています。

皆様のお蔭様と感謝

近江八幡支部 第9期 文芸学科
一 二 三 太 加



皆様お元気でいらっしゃいますか？ 此の度米寿のお祝、誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。ここまで生きられた不思議を今更感謝で一杯です。腎臓摘出手術をして今だに病院通いをして居ります。他人様は、「元気そうやおませんか」といって下さる此の頃は股関節が痛くて困っています。69才の時先輩に進められてレ大文芸学科に席を置き男女25人若返って楽しかった事苦笑いの困パイもあり力一杯励んだ今も思い出します。学友一同続いた「楽老」の句集作製と楽しい会食で励ましあって現在学友は18人、3人様は病気で欠席。当時を偲んで亡き7人様の面影をお一人毎思い浮かべて、あんなことこんなことと懐かしく御冥福をお祈り申し上げます。長男に嫁を貰い、さあ此からの人生好きな事をと絵を習い私の気持は明るく絵は心の支えとなり、友達も出来写生や作品の見学、下田焼の絵付け楽しさ

一杯でした。八幡では俳画教室に通い、人生最後迄生き生きと暮したい。年令を忘れ病院通いも病気の事も忘れ好きな事に励み、ところが米寿になって股関節が痛み出し筋肉は弱り、俳画は解散になり大変淋しくショッピングカーに縋って景色を眺め乍ら散歩、これからの生活設計はと置いていたところ嬉しい救いの便り、早速申込み、新しく出来た福祉関係の市民共生センターへ絵画グループの仲間入りが出来、不自由乍らもボランティアの方のお世話で車で送迎していただき、皆々様のお蔭と有難く感謝で一杯です。初めて水彩画を習い判らない乍らも出来上った喜びは高令を忘れ若い人との交流を大切に、加令で弱っても心は青春と趣味に専念することを大切にしたいと思っています。地域の公民館シルバー講座で教えて頂いた有名な青春の言葉の一部「年を重ねるだけで人は老いない。理想を失う時初めて老が来る。歳月は皮膚のしわを増すが情熱を失う時精神はしばむ」心して味わいたい。

皆様くれぐれもお大事に御活躍に御精進の程をお祈り致します。

大変有難うございました。

合 掌



米 寿

中部支部 第11期 陶芸学科
大 西 精 三

88歳の年を迎えて、皆様方より祝福されありがたくお礼申し上げます。さて、このとしまで何をしてきたかと、振り返って見ると、あたりまえの事をして生きて来たに過ぎないのであった。だがこの永い年月の間には、この年齢層の人達は、自由は許されなかった戦争あり終戦後の生活苦ありを堪えてきた方方で、平和な社会をめざして共に守り共に護られつつ努力して今日の社会を築かれたのだ。今私は感謝感謝の日々を暮らせてもらっています。

多趣味な私は、絵画に書芸に陶芸は勿論のこと墨絵や彫刻と後世に残す美術の制作に多忙です。「貪欲なこと」笑える「ワハハハ」が、前向きに研究を重ね学習し、己の姿勢に存在した証にと、美の創作に一生懸命頑張っております。今後共よろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。



私 の 一 日

中部支部 第16期 文芸学科

村 田 四 郎



“お早ようさん”言っても誰も起きていない。午前4時30分此の時間から私の一日が始まる。私は海軍生活が長かったせいか自分の事は自分でやると言う癖が此の年になっても続けている。私が行なっている事を列举すれば、起床、夏は4時30分、冬は5時30分、就寝夏は6時、冬は5時、規則正しく行い約15年間続けていること。早朝、外に出て軽い体操身体一杯に朝の空気を吸う、家に入って青竹踏みを3,500歩、食事は野菜を多く取る、酒は焼酎1/3水割、煙草は吸わない。

尋ねられ聴かれてハッと88才忘れていたよわれの年

今 静 か に 思 う

中部支部 第10期 文芸学科

西 崎 文 枝

思いがけずこの4月には病院のご厄介になり、短い期間でしたが入院治療を受ける事になり、老年のおどろきなのでした。

退院して日も経ちましたが今度はボケるのではないかとそんな心配をして日を暮して居ます。

9月は敬老の行事が行はわれるときでもあり有難く頂くばかりです。

酷暑の夏も終りかと思いますが、どうぞ一日でも清やかな日を生きて人生のピリオドを安らかに迎えたいものです。

近郊の花のかおりの満ち居たり われの頬より僅かに血の引く
 病院のポストに入れし歌稿なり 6月号となりて我が手に
 湖の水 紙めるが如き夕日なり 光はなべて山に沈みぬ
 春うらら 遠見の湖の水青く きらきらしけれ わが晩年に



2年間に顧みて

湖東支部 第16期 文芸学科
伊藤 千代子

会社の事務と、4人の孫の世話に多忙の連続だった私にも、「体力テストは何時も10年は若い」と自負していた夫が74才でこの世を去り、ポツカリと空洞が出来た様な毎日でした。そんな頃、レイ大の入学許可の通知を頂き、嬉しいながらも2年間通学出来るだろうか、不安な気持ちでいっぱいでした。丁度町内のお友達が「ご一緒しましょう」と来て下さって、やっと実現出来るかも知れないと思いました。湖東町から一人電車通学の方と3人で、愛知川駅8時14分発米原迄、東口下車、西口迄は遠く、血管障害の私には心配だったのですがお友達に支えられやっと西口迄辿りつきました。駅から学校迄タクシーで、帰りは車の方に便乗させていただきました。文芸学科は男女共で24名、授業のある日が待遠しくさえ思いました。短歌も小西先生のユーモアを交えた楽しい授業で時間の経つのも忘れ童心にかえった一時でもありました。穂高連峰、乗鞍一泊の旅、来迎山各寺院吟行、長浜ドームの体育祭等、楽しかった思い出はつきません。皆様に支えられ、平成7年卒業証書を頂く事が出来ました。卒業後、早9年がすぎ年に1回絆会にお逢い出来る日を楽しみに、今日も事務所へ行ける幸をかみしめ感謝の日々を送っております。共に学びし、4名の学友のご冥福をお祈り致しております。

白 寿

湖東支部 第3期 文芸学科
北川 弥一郎



町内長寿番付第2位、現在も新聞には必ず目を通し、食事の好き嫌いもなく、酒、タバコは止めて数拾年になります。子供達とドライブに出る時でも、植物の名前や地名には殊の外詳しく色々と教えられるほど記憶力がある。

地域の方々や、家族に見守られながら余生を過ごしております。

ご子息談



米寿のお祝いを頂戴して

湖東支部 第13期 園芸学科

川 口 甚一郎

思いがけない米寿のお祝い、誠にありがとうございました。元気であった私が病気になるながらも、何とか日々をおくっております。

水墨画を指導しておりますが、女性に囲まれ、送迎を受けながら、楽しく過ごしています。これからも仲間や、家族に見守られながら楽しく余生を送っていきます。

米寿を迎えて

湖東支部 第15期 スポレク学科

小 林 龍 男



わが国には、数え年61才になると還暦、70才になると古希などと言って長寿を祝う習わしがあります。これらの行事を総称して「賀寿」とか「賀の祝い」などと呼ばれてます。この習慣は奈良時代中国から入って来たもので、当時は40の賀、50の賀などと呼ばれてましたが、室町時代末期あたりから還暦、古希、喜寿、米寿、白寿と呼ばれるようになったそうです。幼児の頃は「蚊蜻蛉」などと言われるほど、ひ弱な私でしたが思いもよらない長生きをさせてもらって、今年9月に満87才の米寿を迎えることが出来ました。

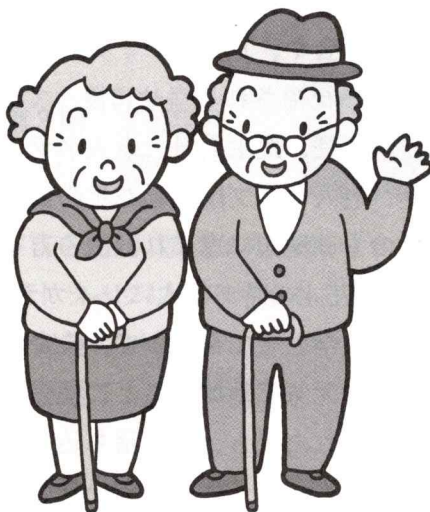
職場のOB会や、レイカディア大学の同窓会からお祝いを戴くやら、皆様に「おめでとう」と祝福される幸せに浸って居ります。職場を比較的早く退職した後は、地域の自治会長、民生委員、老人クラブ会長などの地域活動に長く携わり、自治会長十数年、老人クラブ関係延22年の長きに亘って勤めさしてもらって、数々の表彰を戴けたのも、健康に恵まれ沢山の方々に応援、協力をして頂いたお陰と感謝の念で一杯です。75才の時ある人にレイカディア大学スポレク学科への入学を勧誘され、思い切って入学させてもらって、また私の人生に大きな生き甲斐を与えてもらったのが、今なお元気で地域のことに頑張れる要因ではないかと思っております。6年半前に妻に先立たれた後も、特に落ち込む事もなく、毎日生活に張りを持って独居生活を送れることも、レイ大の心強い仲間や、老人クラブの皆さん、グラウンドゴルフのメンバー達が明るく楽しく支えて下さったお蔭だと思えます。未曾有の長寿社会

とは言え、余命はそう長くはないと考える昨今、一日一日を一生懸命地域の為に尽すことが、何よりの御恩返しと心掛け、身体の動く間は体で、頭の働く中は頭でボランティアに努め、心豊かな余生を送りたいと考えてます。皆さんに喜んでもらえることが己の幸せと達観して、これからも地域の奉仕活動に邁進します。

長寿者の日々『私の一』

湖北支部 第6期 文芸学科
広部 庄太郎

このたびは、米寿の記念品をいただきまして、有難うございました。
昨年11月に転倒して足を骨折し、それ以来、寝たきりの生活が続いているために、お礼文を書くことが出来ない状態ですので、ご容赦いただき、皆さま方のご高配に感謝して居ります。
(家族の話)



支部の動き

大津支部

●グラウンドゴルフ大会を開催

第1回：9月8日（水）参加者 30名

第2回：11月10日（水） 〃 24名

会場 草津市矢橋帰帆島

両日共、初心者を含め、のびのびプレイ。支部会員の親睦の中に終了した。
第1回は支部対抗グラウンドゴルフ大会の出場選手の選考を兼ねて行った。



●「浜名湖博」親睦研修旅行

9月29日（水）

当日は生憎の雨の中を出発、雨あがりの会場着、浜名湖博を見学、花とみどりにつまれた会場内を散策した。帰りの車中はゲームや余興と歓談、笑いの中に終日をすごした。



湖 南 支 部

●グラウンドゴルフ

期日と回数：6月，9月の2回

参加人員：第1回 5月29日（土）44名

第2回 9月30日（木）39名

場 所：ロクハ公園（草津市）

内 容：両日ともグラウンド状況は草が繁茂し悪コンディション。

ボールが草で休憩する、草の中に埋もれ見失う。

さすが良識人の集まり、“若老人”で“快活”、無事終了。

このグラウンドで入賞された会員は、並み外れた優秀な腕とお見受けいたしました。



●「日帰り旅行」 【有田（和歌山）ミカン狩り】 ミカン食べ放題。

有田ミカンはデカイ、夏ミカン並み。4個食べれば満腹。

しかし「食べ放題」なら幾つでもの方もおられ高齢化の心配なし。

バスの乗り降り7回。トイレと土産購入に忙しい。

紀三井寺の階段を昇る元気な老人、いや、若者に見えた。

口だけでなく、足も元気、元気。

楽しかった、また行きたい。



守山・野洲支部

●作品展

例年の秋開催は行事が重なり、昨年は2月、本年は3月10日～15日に第6回作品展を守山図書館にて開催しました。作品は陶芸、絵画、写真、書・軸、短歌・色紙、絵手紙等83点。出展者は9期～24期生の43名と今までの最高の点数と出展者。なお見学者は209名で、見学者には初めて礼状を出し好評でした。



●グラウンドゴルフ交流会

当支部の交流会も今回で13回目の開催となりました。9月13日近江富士と呼ばれる美しい三上山をバックとした、野洲川立入河川公園グラウンドゴルフ場に28名が参加。好天気のもと和やかに、楽しく無事プレー終了。初めての参加者もあって、会員相互の親睦の輪（和）を広げることができました。

なお、6月と今回上位6名と補欠1名を選出し、県支部対抗グラウンドゴルフ大会に当支部の代表選手として出場していただきました。日頃の練習の成果とチームワークの良さを発揮し見事優勝を果しました。



甲 賀 支 部

●親睦研修旅行は「姫路城へ登城」

平成16年10月22日(金)
晴天に恵まれ、旧石部町
を8:00出発した。甲賀
支部同窓会員25名の元気
な顔が揃った。

国宝であり世界遺産で
ある姫路城、何故日本一
美しいと言われているの
か。探求心に燃えてバス
は到着した。



小天守に添われた大天守閣の雄姿に、しばらくは言葉無く棒立ちとなった。84の鉄扉で守られ、119段の急な階段を大先輩2期卒の小嶋さんを囲んで天守最上層へ登った。ガイド歴15年のベテランガイドの説明で、建築美術のすばらしさに陶醉した。

帰途のバスの中、清水さんのハーモニカリードでレイカディア讃歌を合唱し、お互いのハートを暖めあった。



●趣味の作品展開催

本年は水口中央公民館で、水口町地域の文化同好団体と一緒に開催した。

盆栽、陶芸、書、絵画、写真、俳句、手芸、化石等々力作35点の展示である。10月2日(火)、3日(水)の2日間であったが、同窓生は勿論のこと、地域の多くの方々の鑑賞を得て絶賛された。これにより同窓会の実在と活潑な活動を強くアピールすることが出来た。

又、当日新入会員歓迎会を開催し、新入者12名をはじめ44名が出席。同窓会員自演のアトラクションもあり、盛会裏に終了した。



中部支部

中部支部は年間行事として、会報（年2回）発行、グラウンドゴルフ大会、歩こう会等を開催しておりますが、今年度は新しい行事として誰にでもできるスポーツ大会を体育館で開催しました。中部支部は、蒲生郡、八日市市、神崎郡各全域一市六町と広範囲ですが回を重ねるごとに馴染みも増え、新会員も入会され、レイ大の同窓会の自負を持ち楽しく交流と親睦の輪を広めている。

●グラウンドゴルフ大会開催

9月25日（土）参加者55名
能登川町 やわらぎの郷公園
快晴に恵まれ、環境のよい会場にも恵まれ、新会員の多数参加で親睦と交流を深めた大会であった。



●10月30日（土）歩こう会

小雨決行の予定で永源寺町役場前に集合、定刻まで待機し5名で出発する。

紅葉には少し早い永源寺を参拝後、相谷へと迂回する。今朝ラジオで知った永源寺温泉の現場へ寄り、温泉での再会を語りつつ約6キロの道程を歩いた。

●11月9日（火）スポーツ大会

五個荘体育館9時集合、輪なげ、ピンポリング、フライディングディスク、最後は参加者一同輪になり、琵琶湖周航の歌を大合唱し散会した。

実施日	項目	事業内容	備考
5月7日	定期総会	会場：彦根勤労福祉会館 議事：15年度事業報告、決算報告、監査報告 16年度事業計画、予算審議、役員改選等 講演：講師 橋本武浩氏 レイ大16期園芸学科卒 「レイカブレイク大学に学ぶ」	参加者 45名
9月24日	新入会員 歓迎会	会場：甲良町一休庵 役員紹介、新入会員自己紹介(14名)他 アトラクション：落語とマジック	参加者 51名
9月26日	グラウンド ゴルフ	会場：荒神山グラウンドゴルフ場 本部大会出場予選を兼ねる	参加者 30名
10月 9～11日	成果展	会場：秦荘町歴史文化資料館 作品：陶芸、盆栽、書、絵画、工芸、写真 出展数72点	参加者 65名
11月5日	史跡探訪	彦根城、博物館他。写真、記事記載	参加者 33名

●平成16年度 主要事業

10月5日支部恒例の史跡探訪会が33名の参加を得て行われた。今年は彦根分会の当番企画ということで、埋木舎・玄宮園・彦根城博物館をボランティアガイドの女性のさわやかな声に誘われるように廻った。近場とは云いながらはじめてきたという人もあり、熱心にメモを取る人もあった。延べどの位の距離になったろうか。彦根城博物館を見終える頃には一様に知的満足感と同時に足の疲れを覚え、車で昼食懇親会場へ向かった。

●史跡探訪会



湖 東 支 部

く好評でした。而し、最終日の20日は不運にも台風23号の襲来により、午前中で終了を余儀なくされ、残念でした。又当日は、近江八幡のテレビ「ホットテレビ」のカメラマンが撮影に来られ熱心に各作品を写され、早速当日より放映されました。



例年、白雲館にて開催しておりましたが今年はいまわり館に変更して開催致しました。初めての場所の為、展示品の配置に苦慮致しましたが、役員の協力により成功でした。作品も会員の日頃の努力による力作が多く出展され、鑑賞者も多

出品数：60点 出品者：50名

出展者：レイカテイク大学同窓会 近江八幡支部会員

出展品目：書、絵画、陶芸、手芸、写真、園芸等

日時：平成16年10月18日(月)～10月20日(水) 3日間

●成果展 ひまわり館 1階 大ホール

輪違屋、壬生寺、八木邸 以上8ヶ所

研修ヶ所：城南宮、伏見鳥羽古戦場跡、寺田屋、霊山歴史館、島原角屋、

員が楽しく酒盃を重ねて参加者全員ふれあいを深め、全員無事帰郷しました。る事と、古都を一望できる高台で雰囲気もよく、多彩な旬の京料理で舌ツツみ・全



台となったゆかりの遺跡を顕彰す
維新を駆け抜けた男達の活躍の舞
選組」が放映され、この機会に、

今年度はNHK大河ドラマ「新

遺跡を訪ねて」 参加人員48名

9月24日(木)「古都の新選組の

●バス研修旅行の実施

が、今回は成果展とバス研修旅行についてお知らせします。

近江八幡支部は、年間の行事として、成果展、バス研修旅行、会報の発刊、複数

近江八幡支部

湖北支部

●吉野山への研修旅行

湖北支部では秋晴れの10月28日（木曜日）、新入会員中14人の参加を含め、84名の会員が大型バス2台を連ねて、大和の国吉野山へ研修旅行に出掛けた。

秀峰大峰山修験道として数多くの史蹟を有し、南朝60年の悲史とロマンを物語る吉野山一帯は、日本では第12番目に世界遺産に登録された由緒ある場所でもある。道路幅は狭く、険しい山岳道を左右に揺られながら後醍醐天皇陵や如意輪寺などの名刹は車内から参拝。

目的地の『竹林院群芳園』では、到着後の記念撮影や風雅な器に盛られた懐石料理に舌鼓を打ちながらの談笑。三々五々に別れての散策や、世界遺産への登録を記念して御本尊が御開帳中の蔵王堂へ足早の参詣など、あちこちの風情を満喫した。

吉野山は天下に知られた桜の名所でもある。下、中、上、奥の各地あわせて3万本とも、5万本とも言われるサクラの乱れ咲きは言うに及ばず、四季折々の趣きが旅人を魅了する里でもある。然し、この桜の木々も、「ナラタケ菌」が繁殖して樹勢を弱め、10数年で枯れる恐れがあるとのこと。シンボルでもあるこの景観が無残な姿に変わることのないよう、何時までも保たれるようにとの願いを込めながら帰途に着いた。



●支部親善グラウンドゴルフ大会

炎天下の8月28日（土）、支部員の交流と積極的な健康づくり、仲間づくりの推進を目的として、支部のグラウンドゴルフ大会を行った。

会場は昨年に引き続き、高月町内高時川河川敷のラブリバー富永グラウンドゴルフ場に、98名もの支部員が終結し、日頃の腕前を競いあった。

県大会の選手選考も兼ねての大会は猛暑も吹き飛ばし、持参の冷茶を飲み干して携帯で家族に持参を願う会員や、昼食の弁当を発注して、午後も個人的にグラウンドゴルフを楽しもうとする女性グループなども有り、その熱心さには頭の下がる思いであった。

高島支部

●支部総会

5月12日（月）午前11時より高島町萩の浜の麒麟倶楽部にて。39名参加。会費4000円。J R湖西線近江高島駅より麒麟倶楽部の送迎バスを利用。総会后和やかに懇親会。

楽しく、お酒を酌み交わし、互いの健康を喜びあい、レイ大に対する熱い思いを語りあいました。



笑顔が若く美しい！

●第6回支部グラウンドゴルフ交流大会

9月28日、高島町萩の浜G. ゴルフ場で。参加者17名。秋晴れの好天に恵まれて！



成績発表。優勝 増尾和博さん
準優勝 池田邦治さん



和気あいあいと！
楽しいひと時でした！

●一日研修会

11月9日、33名参加。会費3000円。ビール、酒を酌み交わし、楽しいひと時。懇親会を重ねる度に互いに親しくなり気安く話し合える。話はつきないが、最後に皆で「レイカディア大学賛歌」を大合唱し、再会を約し帰途につきました。



余呉湖の羽衣伝説にある天女の衣掛け柳の大木をバックに記念撮影



美味しそう！楽しそう！話がはずむ！

高月町の観音の里歴史民族資料館、彼岸寺十一面観音菩薩像（国宝）、雨森芳州庵ハウスを研修。好天に恵まれ湖北の紅葉の美しい景観を心ゆくまで楽しむことができ、大変有意義な一日研修でした。

支 部 の 広 報 活 動

支 部	機 関 紙 (誌) 名	発 行 頻 度	主 　　な 　　内 　　容
大 津	かけはし	年 3 回	会員からの投稿、会員の訃報、支部行事の報告、予定他
湖 南	「かわらばん」	年12回	本部支部会議、グラウンドゴルフ大会の案内と結果、旅行の案内と評価、作品展の案内と評価、同好会行事案内、新入会員の紹介、会員のエピソード、趣味、短歌、俳句の紹介
守 山 野 洲	守山・野洲 支部情報	年 2 回	本部総会、支部総会 事業計画、グループ活動の案内 新入会員紹介 その他
甲 賀	甲賀支部だより	年 1 回	支部の動き、功労者、米寿の喜び、各部の活動、文芸
八 幡	近江八幡支部会報 第23号	年 1 回 (300部)	レイカディア大学憲章、校歌、支部会則、支部行事経過報告、行政、福祉、レイカ大同窓会関係の言葉、長寿者回顧録、新入会員（25期生）の提言、会員の所感、役員名簿、その他
中 部	中部支部だより	年 2 回	総会、会員活動状況
湖 東	レイカディア大学 同窓会湖東支部会報	年 2 回	会の事業と会員の声
湖 北	会報『こほく』	年 1 回	同窓会本部、支部の活動報告、会員名簿、支部規約及び第15期～第25期生の各学期、各学科別の活動状況
高 島	レイ大ミニ通信	年 5 回	事業内容予告、参加募集 参加感想等、文芸欄、訃報等

グループ紹介

【大津支部】

自助具工房・ケアクラフト002(おおつ)

連絡先：第21期 スポレク学科 岡崎 一郎
TEL&FAX 077-579-2898

1. 自助具ってなに？

- (1) からだの不自由なひとが一人でも日常生活を少しでもやりやすく自分でできるように工夫した道具です。
- (2) どんなものがあるの
普段の生活のあらゆる場面で使う道具があります。
例えば、スプーン、はし、片手用ツメ切り、坐薬挿入器、片手シャンプー。
- (3) 市販品との違いは？
ひとりひとりの手・腕・足などの動きの違いや障害の程度にあわせて、より使いやすくなるよう工夫をこらしてあり、ケアクラフト002(おおつ)は営利を目的としていませんので、価格は材料費程度で作らせてもらっています。

2. 活動内容

自助具の製作活動、研究開発、および能力向上のための研修活動を行っています。平成15年度の製作点数は約55点で、大津市「げんきくらぶ」の助成を受け、日曜大工仲間を中心に相互扶助組織「自助クラフト倶楽部」を兄弟組織として立ち上げました。また、龍谷大学の福祉フォーラムの共同事業で、「自助具利用者のそれに基づくモデル新自助具の開発研究」も実施できました。

3. 活動日、活動場所、メンバー、協力機関など

- (活動日) 第1、第3水曜日、午前10時～午後3時：坂本市民会館
第1金曜日、午前10時～午後3時：坂本市民会館(自助クラフト倶楽部)
第2、第4水曜日、午前10時～午後3時：龍谷大学(瀬田)
- (活動メンバー) 総勢約40名(ケアクラフト002：30名、
自助クラフト倶楽部25名、一部重複会員)、会長：岡崎 一郎

(協力機関) 大津健康福祉センター、坂本市民会館、龍谷大学(瀬田)
真盛園在宅介護支援センター、県立福祉用具センター
大津市社会福祉協議会

4. 活動の歩み

1. 1999年6月に坂本市民会館で「福祉用具製作ボランティア講座」が開かれ、その受講生有志にて、1999年9月に立ち上げた。
2. 2001年4月より、研修中心の日を1日加え、月3回体制とする。
3. 2001年7月に第2回の「福祉用具製作ボランティア講座」を実施
4. 「おおつげんきくらぶ」の2001年度の助成を受け、体制強化
5. 2002年7月より、龍谷大学(瀬田)に第2工房開設、月4回体制とする。
6. 2003年龍谷大学福祉フォーラム共同事業実施(50万円)
7. 2003年「おおつげんきくらぶ」の助成(78万円)を受け、「自助クラフト倶楽部」を創設し、月5回体制とする。

5. おわりに

多くの方々に支えられて、この5年間歩んできましたが、行政改革の大波を受け、2005年度は自立に向けた改革が求められています。

メンバー及び関係各位のご支援を頂きながら、一步一步前進する覚悟です。なお、今後の発展の中で、本同窓会員の果たす役割の増大が予想されますので、この場をかりて、皆様のご支援をお願い申し上げます。

(ホームページ：<http://www15.ocn.ne.jp/~ccrft002/>)



【大津支部】

K スポ・レク 倶楽部

連絡先：第21期 スポレク学科 岡崎 一郎
TEL&FAX 077-579-2898

1. はじめに

草川先生はじめ諸先輩のご支援のもと、草津第21期スポレク学科メンバー9名を中心として、総勢25名で、平成11年4月にスタートした。レイカディア関係者、地域の新しい会員に支えられて、5年半（68回）の歩みを続けています。

2. 活動状況

月1回、坂本市民会館をベースキャンプにして、約25名の会員で、高齢者の健康づくり、仲間づくりを目指して、各種レクリエーション活動の実践と研究活動をしています。スポレク出身メンバーの特技を活用し次のような多彩な項目を組み合わせて、活動しています。

- * ダンス（レクダンス～社交ダンス）
- * クラフト（折り紙、箱づくりなど）
- * ニュースポーツ（グラウンドゴルフ、手作りニュースポーツほか）
- * うた（淡海節、詩吟、童謡など）
- * 野外活動（小旅行、ウォーキングなど）
- * 健康体操（ストレッチ、リズム体操など）
- * その他（68号会報、合コン、など）

写真は活動状況の一コマです。なお、平成14年度、15年度の成果展でも発表させていただきました。



3. おわりに

多くの関係各位のご支援、ご鞭撻をいただきながら、歩みつづけることができました。この場を借りて草川先生、諸先輩、同窓の方々へ心より御礼申しあげます。

【湖南支部】

レクダンス

連絡先：第22期 スポレク学科 和賀 吉雄
TEL 077-552-3760

- 場 所 大宝公民館（栗東市）
- 会員数 41名
- 開 催 月2回
- 開催時間 13：00～16：00
- 会 費 年1,000円
- 内 容

「お富さん」「チャチャチャ」……

20曲のミュージックに乗り会員男女が手に手を取り踊る。踊るよりも楽しむとお見受け致しました。

手、足、指、眼、腰、首、耳、脳……のフル活動。

昼の日中から異性の手を握り、踊って笑顔、失敗して笑顔、皆さんニコニコと楽しい、楽しい。見ているだけで心が豊かになる。

先生は20期スポレクの八木様、やさしくやさしく指導。

皆さんに説明の際も会員はペアーで互いに手を握りあい聴いている。あなた方は夫婦でないのに、いつまで手をにぎっているのと……少々ヤキモチの気分が起こる。

たくさんの医師が言う“ボケ防止のために年をとっても異性への関心をいつまでも持ちなさい”と、この人達からは痴呆も近寄ってこないと確信した。還暦を過ぎた元気な元気な若初老の集団。

たまたま隣に来られた方に“お年は”……“79”、背筋ピン、顔ツヤツヤ、笑顔一杯。21期スポレク 矢野様。ただただ感心!!



（文責：第20期 陶芸学科 三上善弘）

【湖南支部】

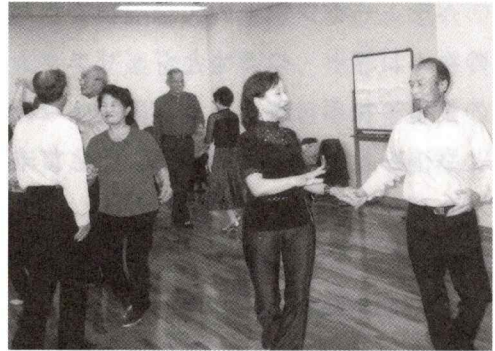
レイカ・ダンスクラブ（社交ダンス）

連絡先：第23期 スポレク学科 小泉 一夫
TEL 077-552-4760

- 場 所 「さきら」（栗東駅前）
- 会員数 30名
- 開 催 月4回（木曜日）
- 開催時間 9：30～11：30
- 会 費 月1,000円
- 内 容

会員は全員レイカディア大学卒業生。

午前9時30分からソーシャルダンスのム



ードミュージックで男女が和気あいあい、しかし真剣な顔付き、きれいな立ち居振る舞いに圧倒される。先生は22期スポレクの菊地様（女性）で美人。

朝から男性は女性の手を、女性は男性の手を、しかも男性は女性の腰まで手を廻しておられる。ダンスはこうしないと踊れないのは良くわかってはおりますが……朝の9時半から、ただ、ウーン。

横におられた会員で23期スポレクの行岡喜美子様「よろしいなー、朝から男性の手を握れて……」、返答は「そんな気持で踊っておりません!!」と厳しい顔でキツイお言葉。

社交ダンスを踊る人の気構えは至高の域に達しておられると感じ入る。しかし、横から複数の紳士が「たくさんの女性と手を取り合うのは気分よろしいどっせ」と耳にし、ヤッパリ。

動きは思いの外激しい、視覚、聴覚、触覚を刺激し、踊る女性からホノカに香水の香り……で嗅覚をも刺激、休憩時にクッキーを口にして最後に味覚も、人間の持つ五感で脳に強く感動を与える。

勿論、笑い満杯、この人達にも痴呆はよってこないと賛辞を送りたい。

二つのクラブで感じました。還暦を過ぎた人々ではない、後ろ姿は青年、乙女。みんな若々しい、笑いが多い、笑いが多い。

朝から、昼から異性の手をとりあって踊る「レクダンス」「レイカダンス」を心から素晴らしいと実感し、見ているだけで感動し若返りの薬をいただきました。

スバラシイカナ「レクダンス」、スバラシイカナ「レイカダンス」。

【守山・野洲支部】

語ること 演ずること 何かたのしい「夢いっち」創作 紙芝居

連絡先：第9期 陶芸学科 中村 勝一
TEL 077-582-3471

ベートーベン第九の大合唱 響きわたる歓喜と感動の嵐——。シェークスピア劇のハムレット・ロミオとジュリエット・ヴェニスの商人・夏の夜の夢など 歌舞伎の荒事・和事・義太夫狂言の語りなどこの人生はお芝居のように展開する！ 平和と幸福を希求する人間の夢 そして未来を約束された幼い子供達にもこの「夢」をハッピーな笑顔と共に伝えたい。こんな願いが 高齢市民学び花咲く地域貢献講座（財）滋賀県レイカディア振興財団の提唱で広く県民の方々と共々紙芝居グループが第一期夢いっちグループとして、守山市今関信子（児童文学作家）徳永招美（日本画家）両先生ご指導の下に発足いたしました。第二期虹、第三期たつの子、第四期げんごろう、第五期かえるグループとしてそれぞれ続き、県内各地で活躍いたしております。

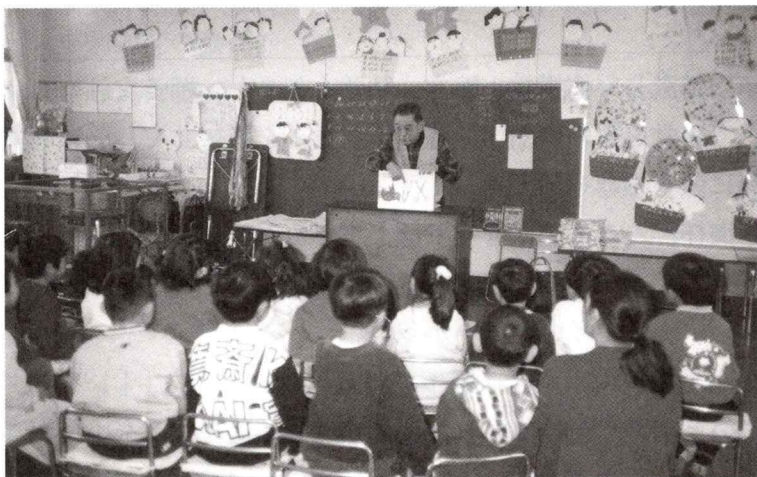
いくら未来社会がガンバッテも、人間にしかできないことが、絶対にある。TV他映像機器のなかった時代は紙芝居劇が子供達の唯一の娯楽であった。

地域の民話や伝承からヒントを得、物語を考えて絵筆を取り語り演ずることの感激を生きがいとして続けて行きます。

人々のよろこび かなしみは我が心

先人の伝えし 一期一会のころ

それが人生であり お芝居にも通じているようです。



【甲賀支部】

甲西町陶芸教室

連絡先：第22期 陶芸学科 小林 和雄
TEL 0748-74-2523

甲西町陶芸教室（平成16年10月より湖南市）は、町当局のご配慮により、老人の生きがい対策として発足し、運営は甲西町老人クラブ連合会が行い、指導は、滋賀県レイカディア大学陶芸学科卒業生（現在20名）が担当し、自主運営して参りました。平成元年6月17日に発足して、本年で16年目を迎え、発足当初は47名の会員でしたが、現在では総員84名となりました。

当教室は、自主運営ですので、作業室の環境整備、焼成窯の整備並びに作品の成形、素焼、施釉、窯詰、本焼、窯出し等も、お互いに協力してやって参りました。年間の主な行事としては、5月に総会を開催し、全員の親睦を図り、一泊研修旅行と一日研修旅行を各1回行って、窯元の見学等を実施しており、その他では、11月に開催される文化祭に、全員が出品し、多くの方から好評を得ております。陶芸を通して仲間づくりも広がり、和やかな中にも真剣な雰囲気もあり、生涯学習に大きな役割を果たしております。また、文化面でも立派な成果を上げており、継続した運営が期待されている。



【八幡支部】

碧水陶芸の会

連絡先：第9期 園芸学科 佐々木 尚一
TEL 0748-32-5904

(1) あらまし

平成5年10月「滋賀県レイカディア大学」と改称され、草津市に「健康長寿センター」新校舎が建設されるまで、老人大学校第16期陶芸学科生までの教室として。毎年約20名陶芸家の雛を育て続けた「県立老人センター碧水荘」は、その後県福祉事業の見直しにより平成14年4月「水口町立老人福祉センター 碧水荘」として新しく改装、デイケアセンターとしての機能も合わせた複合施設となっております。



しかし、大学陶芸学科の教室としての施設は整備され町に引継がれ、今も教室として陶芸学科第1期生から第22期生までの卒業者の技術向上の為の場、水口町陶芸愛好者の陶芸習得の場としての機能を存分に発揮しております。

(2) 教室の運営

水口町に移管後も県からの運営方が継承されレイ大OBを主体としたA・B組と水口町内で募集された「水口陶芸教室」の3チームが、それぞれ月2日のペースで陶芸に励んでいます、この各組の編成に、

○水口陶芸教室 10名 指導員はA・B組の中から指名を受けた者

○A組 28名 指導 伝統工芸師 古谷 弘先生 (忠六)

○B組 20名 指導 伝統工芸師 神山俊一先生 (一陶)

となっております、各チームの代表者が必要の都度打合せ、緊密な連携を保ちながら楽しく陶芸に専念しております。

町に移管後も町当局の深い理解の元、光熱費・燃料費等の負担を戴っていることに生徒一同心から感謝を致しております。



(3) 終わりに

この10月1日から5町合併の甲賀市が誕生しましたが、この「碧水荘陶芸教室」が陶都信楽と共に、甲賀市ひいては滋賀県の陶芸人口の増加と振興並びに生涯学習の発信基地として、大きな担い手となりますことを確信し、近況のご紹介といたします。

【中部支部】

七 夕 会

連絡先：第11期 園芸学科 塚本 次郎
TEL 0748-48-2652

レイカディア大学は平成5年9月迄老人大学と呼ばれていた。

吾々が、大学へ通っていたのは昭和63年だった。

今思えば、若き青年だったと思う。2年間通った懐しの学園を後にしたのは平成2年9月26日だった。

翌年1月17日阪神淡路大震災の朝、地震に起されて今日は同窓会の初会合で、皆んな集ってくれるだろうかと心配をしたが、却って初めての会合と云うことで、殆んど全員が集って下さった。

こんな賑やかな会は年2回位やろうや、名前は「七夕会」と話が出てそのままが現在に至っている。

今はグラウンドゴルフやゲートボール、歩こう会とか他の会ではやられているが、年を老いてゆくとお付合が出来なくなり引込思案が優先して何も出来なくなってくる。

小生も曲りなりに蘭を手がけているが、何時棒が折れるや分らない。盆栽もやっているが足腰が弱ってくるとどうにもならない、一日でも持ちこたえたいと思っている。

卒業して20年この間の様に思っているが、10年経てば一昔、20年経てばふた昔と云われています。何時迄持ちこたえられるか精進して頑張り度いと思っています。

●7月7日「七夕会」：名前の通り毎年7月7日



1日研修 大津「岩間寺」松尾芭蕉の碑の前で

【湖東支部】

手作り紙芝居グループ「虹」

連絡先：第11期 園芸学科 磯貝 澄雄
TEL 0749-22-5236

「皆さんこんにちは、お元気でしたか。しばらくでしたが今日もまた紙芝居の「虹」がやって参りました。」の挨拶から活動がはじまります。県内各地の特別養護老人ホームや老健センターなどの高齢者福祉施設を主に訪問してのボランティア活動です。内容は紙芝居が中心ですが、最近では手品やハーモニカの演奏をしたり、みんなでリハビリの舞や、童謡・唱歌など唄ったりして約1時間、私たち自身も楽しみながら高齢者の皆さんと共にひと時を過ごすような活動を月1回程度行なっています。これを始めて5年余り経ちますが、グループの7名は全員レイ大の同窓会員で、共通の話題も多く和気藹藹とやっています。このことが本会の表彰規定に該当するとかで、はからずも団体表彰の栄に浴することになり、感謝しています。今後とも内容を更に充実して社会福祉貢献の一助にでもなればと全員で協力しながら一生懸命頑張っていきたいと思っています。

代表 甲賀支部 小倉清子



紙芝居の合間に、手品その他の余興を取り入れています。(水口町の医院で)

【湖北支部】

『小さなUTSUWA』

連絡先：第22期 陶芸学科 田中 孟
TEL 0749-65-1268

昭和63年、米原校が開設され、湖北地方の向学志望者に大きく門戸が開放されましたが、陶芸学科への志望は門戸が閉ざされて、学びたくとも学べないもどかしさが有ります。勿論、向学の志を自ら閉じることなく、草津校の陶芸科を希望すれば、学習の道が開かれている訳であるが、一番の



出来上がった作品を皆んなで批評しあう。

難題は距離問題にあり、降雪期になれば尚更のこと交通手段がネックとなって、思い留まらざるを得ないような状態でも有ります。

然しながら、湖北支部内にはこの悪条件下にあっても、あえて湖北の地からこの難問に挑戦し克服した10人の会員が居られ、やり遂げた情熱には頭の下がるような思いである。この10人の内、5人の会員が「陶友会」を組織し、陶芸教室の講師として陶芸の普及活動を通じながら、地域内で趣味の仲間づくりに励んでいます。現在、18人の生徒を集めて、コミュニティセンター長浜サンパレスの1室を専用し、週3回、陶芸の魅力に誘われながら寝食も忘れ、工房で熱心に作品に取り組んでいる姿は真剣そのものであります。

この集団は、『小さなUTSUWA』という名のグループで、自由創作をモットーにして世界で、ただひとつの作品創りを目指しながら、産地での研修や作品展の開催に向けて頑張っており、ようやく軌道に乗って来た感はあるものの、一番の悩みは、付近では良質な陶土が得られないため、遠く信楽から取り寄せている。又、適当な窯が無いなどの悩みは尽きないが、地域にもっと大きな輪を広げて行きたいとの思いと共に、米原校にも是非、陶芸学科を設置して頂きたいという切実な声が大きく聞こえ出して来ているのが実情であります。

(文責 第20期・生活科学学科 戸之洞 貞夫)

【高島支部】

会員の活動紹介

私の選んだ道

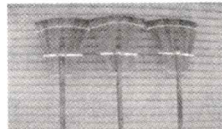
第19期 園芸学科 北村 政雄

「80の手習い90で間に合う」と言う諺がある。私は50代半ばで罹病3年余の闘病後、かねての願望であった庭木剪定の道に入った。レイ大で「素敵にボランティア」のタイトルで誰でも、どこでも、いつでも、お互い様と、宇川先生のお話に深く感銘を受け私の処世の指針を見つけた思いであった。



お宮さんの剪定奉仕

た。現在も乞われれば、個人様のお宅に参りますが、殆んど自宅の庭と地区内の神社、お寺、草の根ハウス、草の根広場等の剪定に励んでいる。今後も生涯現役でと念じてがんばりたいと思っている。



町内のお寺やお宮さんに寄贈された北村さん手作りの熊手

観光ボランティアとして

第23期 竹下 彰子

高島町は、古代より風光明媚、水陸交通の要衝として開けた町である。四季折々さまざまな景色で、訪れた人を楽しませる豊かな自然と文化や歴史遺産が多く残されている。

「きてよかった・見てよかった・また訪れたい」と喜んでいただき、高島町を広く知ってもらいたい思いで観光ボラン



蝦夷地の探検と開発の先駆者近藤重蔵についてガイド

ティアが平成9年3月に設立された。レイ大卒業生4名もボランティアガイドとして参加している。俳句の吟行、万葉歌碑めぐり、我が家のルーツを求めてのハイキング、巨木を見たい等々。私たちは、それらのニーズに応えるべく日々研鑽し、その都度わが町高島町の良さを再発見している。

ガイド活動は、脳の老化防止、健康保持になり、生き生き澁刺活動している。

平成16年度本部役員

役職	氏名	電話番号	備考
会長	奥村 常治郎		湖南支部顧問
副会長	岩井 典弘		守山・野洲支部長
	岩崎 進		近江八幡支部長
事務局長	池田 邦治		高島支部長
会計	城 宏衛		甲賀支部長
常任理事	増尾 一雄		大津支部長 研修部副部長
	三上 善弘		湖南支部長 広報部長
	岩井 典弘		副会長
	城 宏衛		会計
	岩崎 進		副会長
	辻 正三		中部支部長 研修部
	川並 稔男		湖東支部長 研修部長
	戸之洞 貞夫		湖北支部長 総務部長
	池田 邦治		事務局長
	理事	岡崎 一郎	
斎藤 治子			総務部
西田 太治郎			総務部
宇野 愛子			研修部
岩井 豊治			総務部副部長
黒田 玲子			広報部
松本 秀一			広報部副部長
中森 静恵			総務部
木村 茂治			広報部
馬場 利			総務部
斉藤 吉太郎			総務部
出路 貞子			広報部
山田 佐太郎			総務部
金子 良一			広報部
南部 治男			研修部
小谷 敏夫			広報部
熊地 三治郎			広報部
萬木 敏子		総務部	
監事	木俣 信一		中部支部
	蘭 昭三		中部支部
顧問	佐々木 尚一		近江八幡支部顧問
	門馬 三郎		大津支部顧問

編集後記

高度情報社会にあっても根底に流れる人の心は不変であり、高齢者の生きがい作り、心の通った支えあいを含め「会員同士のキズナが一層深まる」「よりどころ」として年一回の会報発行に新しいメンバーで、新機軸を出そうとの編集会議を重ねました。

北部滋賀と南部滋賀の会員と会員との円滑な意志疎通を図る手立てとして、

①表紙のカラー刷り

②会長挨拶をインタビュー方式にして出来るだけ評細に思いを聞くなどの企画をしました。

これからも、

“明るく笑える日が、たくさん、たくさん、来ますように”!!

発行にご尽力賜りました会長、支部長、広報部諸氏に御礼申し上げます。

(広報部長 三上 善弘)

会報 第21号 編集委員

広報部長 三上 善弘 (湖 南 支 部)

広報部員 岡崎 一郎 (大 津 支 部)

黒田 玲子 (守山野洲支部)

松本 秀一 (甲 賀 支 部)

木村 茂治 (近江八幡支部)

出路 貞子 (中 部 支 部)

金子 良一 (湖 東 支 部)

小谷 敏夫 (湖 北 支 部)

熊地三治郎 (高 島 支 部)

**滋賀県レイカディア大学同窓会
会報 21 号**

発 行：平成 16 年 12 月 21 日

編 集：滋賀県レイカディア大学同窓会
同窓会事務局
〒520-0072

草津市笠山 7 丁目 8 - 138
(滋賀県レイカディア大学本部)

印 刷：大津紙業写真印刷株式会社
☎077-544-0190

